

超精密とメカトロメーション®を追求する

**Seibu**

# 2025年3月期 第2四半期（中間期） 決算概要

**西部電機株式会社**

（東証スタンダード・福証 証券コード6144）

# 2024年度 中間期決算・ 通期業績見通しのポイント



## 2024年度中間期決算・通期業績見通しのポイント

1

2024年度中間期の受注高は、精密機械事業における半導体市場向けや電気自動車関連、スマートフォン関連において当社製品に対する需要が引き続き高水準に推移し、17,351百万円と増加（前年同期比+10.8%）

売上高は、搬送機械事業において前年同期のような大口物件の成約がなく、14,296百万円と減少（前年同期比△1.2%）

2

2024年度中間期の損益は、原材料・資源価格の高騰等に伴う価格転嫁は進めたものの、急速なコスト上昇分を十分に賄いきれず、営業利益は、649百万円（前年同期比△40.6%）、経常利益は、684百万円（前年同期比△38.9%）、親会社株主に帰属する中間純利益は、452百万円（前年同期比△40.2%）と、いずれも前年同期比で減少

3

2024年度通期の売上高は、受注残高及び旺盛な需要環境により、期首予想33,250百万円（前期比+4.1%）から変更なし

営業利益は、2,950百万円（前期比+6.0%）、経常利益は、3,070百万円（前期比+6.7%）  
親会社株主に帰属する当期純利益は、2,080百万円（前期比+5.2%）と期首予想から変更なし

4

2024年度から配当政策にDOE（連結純資産配当率）基準を採用

DOE4.0%を目安とすることで、2024年度配当は84円（配当性向61.0%）とする計画

2024年度中間配当は42円を決議

# 2024年度 中間期実績



## 連結業績（中間期）

(単位：百万円)

	2023年度中間期	2024年度中間期	前年同期比／差		公表値 (2024年5月15日)	公表差
受注高	15,660	<b>17,351</b>	+10.8%	+1,691		
売上高	14,475	<b>14,296</b>	△1.2%	△178	14,100	+1.4%
売上総利益（率）	3,837 (26.5%)	<b>3,616 (25.3%)</b>	△5.8%	△220		
販売費及び一般管理費	2,743	<b>2,967</b>	+8.2%	+223		
営業利益（率）	1,093 (7.6%)	<b>649 (4.5%)</b>	△40.6%	△444	710 (5.0%)	△8.6%
経常利益（率）	1,119 (7.7%)	<b>684 (4.8%)</b>	△38.9%	△435	770 (5.5%)	△11.1%
親会社株主に帰属する 中間純利益（率）	756 (5.2%)	<b>452 (3.2%)</b>	△40.2%	△304	510 (3.6%)	△11.2%
EPS	50.13円	<b>29.97円</b>	△40.2%	△20.16円	33.77円	△11.3%

## セグメント別実績（中間期）

(単位：百万円)

	受注高	前年同期比	売上高	前年同期比	営業利益	前年同期比
搬送機械事業	6,679	+7.8%	5,283	△7.5%	403	△40.4%
産業機械事業	3,173	△0.7%	2,034	+2.7%	△9	-
精密機械事業	7,347	+20.1%	6,807	+2.9%	285	△42.0%
その他/消去・調整	151	+0.7%	171	△0.7%	△30	-
連結決算	17,351	+10.8%	14,296	△1.2%	649	△40.6%

## ■ 搬送機械事業

物流業界で2024年問題の課題解決や半導体関連の需要増を背景に自動化や省人化ニーズが高まっている中、既存顧客からのリピート受注、自動倉庫や生産・物流分野等に、ピッキングシステムや新商品を使ったソリューションを提案するとともにサービス・メンテナンスにも注力

## ■ 産業機械事業

民間需要の掘り起こしやゲート分野を中心とした既存市場におけるシェアアップ、サービス・メンテナンス及び前年度好評を得た全国キャラバン活動による既存ゲート設備の電動化の提案に注力

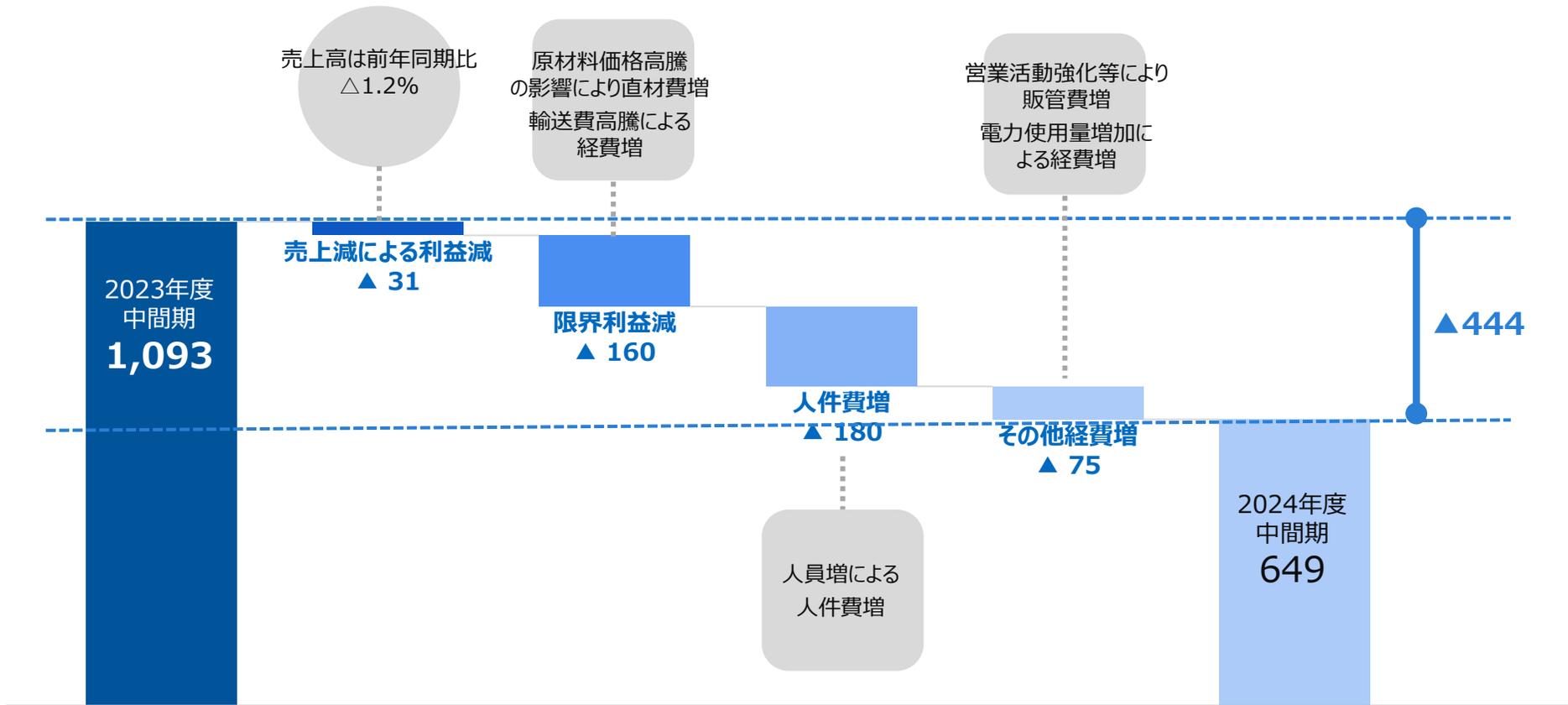
## ■ 精密機械事業

中国経済の低迷が懸念されたものの半導体市場向けや電気自動車関連、スマートフォン関連において当社製品に対する需要が引き続き高水準に推移

## 営業利益増減要因（中間期）

- 原材料や資源価格、輸送費高騰等に伴う価格転嫁は進めたものの、急速なコスト上昇分を十分に賄いきれず利益減少
- 海外展開や展示会出展等の営業活動強化や新工場建設に伴い、人件費を含む各種経費が増加

（単位：百万円）



## 貸借対照表及びキャッシュフロー（中間期）

## 貸借対照表

(単位：百万円)

	2023年度末	2024年度中間期末	前期末比
現金及び預金	11,936	<b>8,832</b>	△3,103
売掛債権・電子記録債権	10,644	<b>8,087</b>	△2,556
棚卸在庫	3,972	<b>4,416</b>	+443
有形固定資産	13,934	<b>15,082</b>	+1,147
投資有価証券	6,782	<b>6,033</b>	△748
その他資産	2,858	<b>2,905</b>	+46
資産 計	50,127	<b>45,357</b>	△4,770
支払債務・電子記録債務	10,013	<b>6,177</b>	△3,836
借入金	416	<b>416</b>	-
その他負債	9,149	<b>8,739</b>	△410
負債 計	19,579	<b>15,332</b>	△4,246
純資産	30,548	<b>30,025</b>	△523
自己資本比率	60.9%	<b>66.2%</b>	+5.3%
ネットキャッシュ	11,519	<b>8,416</b>	△3,103

## キャッシュフロー

(単位：百万円)

	2023年度中間期	2024年度中間期	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,794	△ <b>1,668</b>	△4,463
投資活動によるキャッシュ・フロー	△327	△ <b>1,114</b>	△787
財務活動によるキャッシュ・フロー	△319	△ <b>320</b>	△0
フリーキャッシュ・フロー	2,467	△ <b>2,783</b>	△5,250

2024年度中間期は、支払方法の見直し及び前期末日休日の影響により、営業キャッシュフローが減少となっております

# 2024年度 通期業績見通し



## 2024年度通期業績見通し

(単位：百万円)

	2024年度 見通し	2023年度 実績	前期比／差		
受注高	35,340	31,504	+ 12.2%	+ 3,836	
売上高	33,250	31,945	+ 4.1%	+ 1,304	
売上総利益（率）	9,410 (28.3%)	8,616 (27.0%)	+ 9.2%	+ 793	
販売費及び一般管理費	6,460	5,833	+ 10.7%	+ 626	
営業利益（率）	2,950 (8.9%)	2,782 (8.7%)	+ 6.0%	+ 167	
経常利益（率）	3,070 (9.2%)	2,876 (9.0%)	+ 6.7%	+ 193	
親会社株主に帰属する 当期純利益（率）	2,080 (6.3%)	1,977 (6.2%)	+ 5.2%	+ 102	
EPS	137.74円	130.95円	-	+ 6.79円	
ROE	6.7%	6.7%	-	+ 0.0P	
セグメント別					
搬送機械事業	売上高	11,500	11,333	+ 1.5%	+ 166
	営業利益(率)	1,151 (10.0%)	1,105 (9.8%)	+ 4.1%	+ 45
産業機械事業	売上高	6,760	6,579	+ 2.7%	+ 180
	営業利益(率)	895 (13.2%)	852 (13.0%)	+ 5.0%	+ 42
精密機械事業	売上高	14,430	13,567	+ 6.4%	+ 862
	営業利益(率)	1,193 (8.3%)	908 (6.7%)	+ 31.3%	+ 284

## 株主還元

## 2024年度は配当政策の変更（配当性向→DOE）により、84円を予定 なお、2024年度中間配当は、42円とする

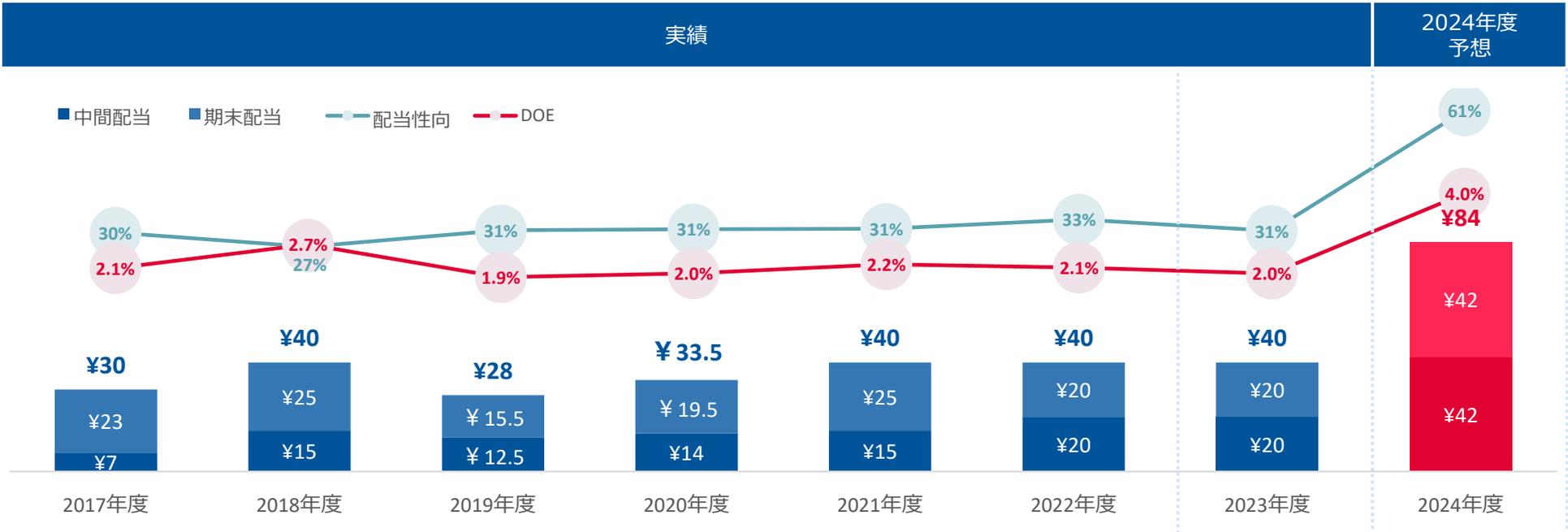
## 2023年度までの配当政策

安定的な配当を継続して行うことを基本方針

配当性向 **30%** を目標

## 2024年度以降の配当政策

安定的な配当を継続して行うことを基本方針

DOE\*1  
(連結純資産配当率) **4.0%** を目安

\*1. 連結純資産配当率 = 1株あたり配当金 / 期末1株あたり連結純資産

ご参考



## 新精密工場兼事務所棟竣工

### 精密機械事業の需要増大に対応する 新精密工場兼事務所棟が2024年9月末竣工

- 中国やA S E A N諸国におけるスマートフォンや電子部品、電気自動車関連の生産増や半導体市場の成長に伴い、ワイヤ放電加工機に対する需要も高い水準で推移
- 高まる製品需要に対して、品質や納期面においても、お客さまが求めているサービス内容に的確に対応することで、事業の競争力強化を図る
- 製造プロセスのデジタル化や無人搬送機などの導入により、生産能力は1.5倍に向上
- 設備の高効率化によるCO2排出量の低減に加え、太陽光発電によるグリーンエネルギーを導入



#### 新精密工場兼事務所棟の概要

- (1) 名称 : 新精密工場兼事務所棟
- (2) 所在地 : 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号  
(本社工場敷地内)
- (3) 構造 : 鉄骨造 (準耐火構造)
- (4) 規模 : 地上3階  
延床面積 11,707.21㎡ (3,548坪)  
建築面積 6,209.12㎡ (1,882坪)

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断や仮定によるものであり、リスク及び不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値と異なる結果となる場合があります。

超精密とメカトロメーション®を追求する

**Seibu**

**西部電機株式会社**

**東証スタンダード・福証（証券コード：6144）**

**〈お問い合わせ先〉 経営企画部**

**TEL：092-941-1500**

**FAX：092-941-1511**

**<https://www.seibudenki.co.jp/ir/>**